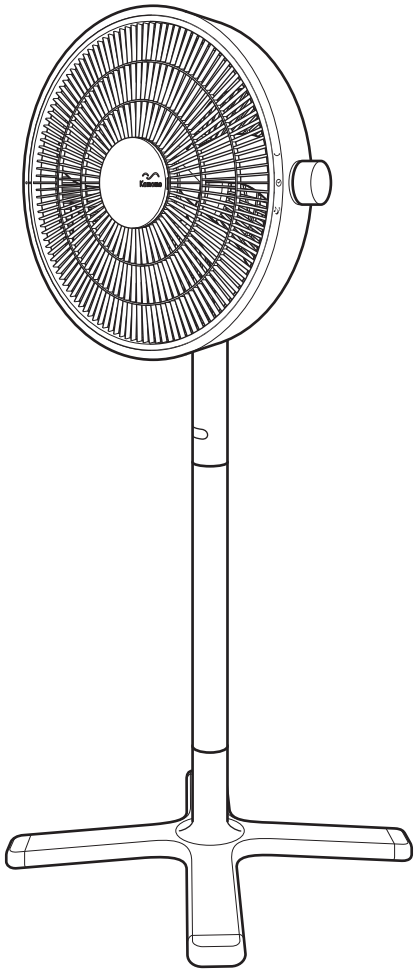
Kamome

Kamomefan リビングファン FKLU-303D／ULKF-1303D

取扱説明書・保証書



このたびは、当社製品をお買い上げいただきまして、誠にありがとうございます。正しくご使用いただくために必ずこの取扱説明書をよくお読みください。なお、お読みになられたあともいつでも見られるように大切に保存してください。

※本機はお客様組み立て商品となっています。

もくじ

安全上のご注意……P1～P2
各部の名称とはたらき……P3
使用前の準備……P4～P6
正しい使いかた……P7～P12
お手入れと保存……P13～P14
修理・サービスを依頼する前に……P15
長期使用製品安全表示制度に基づく本体表示について ……P18
アフターサービスについて……裏表紙
保証書……裏表紙

仕　様

電　源	DC24V　ACアダプター (付属)
消費電力	約 23 W (ACアダプター使用時)
ACアダプターコード長さ	約 2.5 m
外形寸法	約 幅 39.5 × 奥行き 39.5 × 高さ　67 cm (中間ポール取外時) 高さ 102 cm (中間ポール取付時)
質　量	約 3.65 kg (本体のみ・リモコン・ACアダプター含まず)

- 仕様等は改善・改良のため、予告なく変更することがあります。
- この製品を使用できるのは日本国内のみで、海外では使用できません。
  (This unit can not be used in foreign countries as designed for Japan only.)

株式会社ドウシシャ

4A19A

安全上のご注意

●ご使用になる前に、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
●ここに示した注意事項は安全に関する重大な内容を記載していますので、必ず守ってください。
●お読みになったあとは、お使いになる方がいつでも見られるところに、必ず保存してください。

⚠警告	誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示します。
⚠注意	誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性及び物的損害の発生が想定される内容を示します。 (物的損害とは、家屋・家財・家畜・ペット等にかかわる拡大損害を示します。)

図記号の意味と例

	⃠は、「してはいけないこと」を意味しています。具体的な禁止内容は、⃠の中や近くに絵や文章で示しています。(左図の場合は、「分解禁止」を示します。)
	●は「必ずすること」を意味しています。具体的な強制内容は、●の中や近くに絵や文章で示しています。(左図の場合は、「AC アダプターをコンセントから抜くこと」を示します。)

⚠警告

禁止

交流100V以外では使用しない。
火災・感電の原因になります。

付属のACアダプター以外は使用しない。
火災・感電・けがの原因になります。

ACアダプターは布をかけたり、覆ったり、熱のこもる使いかたをしない。
火災・故障の原因になります。

電源コードを傷つけたり、破損したり、加工したり、無理に曲げたり、引っ張ったり、ねじったり、たばねたり、重いものを乗せたり、挟み込んだりしない。
火災・感電の原因になります。

電源コードやACアダプターが傷んだり、コンセントの差し込みがゆるいときは使用しない。
感電・ショート・発火の原因になります。

羽根とガードを取り付けずに運転をしない。
けが・故障の原因になります。

子供だけで使わせたり、幼児の手の届くところでは使わない。
けが・感電の原因になります。

本体のすき間にピンや針金などの金属物など、異物を入れない。
感電・けがの原因になります。

使用禁止

異常時(こげ臭い、発煙など)はACアダプターを抜き、使用を停止する。
火災・感電の原因になります。

指示

ACアダプターはコンセントの奥までしっかり差し込む。
感電・ショート・発火の原因になります。

ACアダプターの刃および刃の取り付け面にホコリが付着している場合はふきとる。
ホコリが付着したままACアダプターを差し込むと、ショート・火災の原因になります。

お手入れ後や組み立てのときは、羽根とガードをしっかりと固定する。
締めつけが不十分だったり、正しく組み立てられていないと、けが・故障の原因になります。

リモコン用の電池からもれた液が目に入ったときは、こすらずに水で洗い流し、医師の診察を受ける。
失明や目に障害を負う恐れがあります。

リモコンには磁石が内蔵されているので、扱いには十分注意する。
ペースメーカーなど使用されている人が胸ポケットに入れたり、磁気に弱いもの(磁気カードなど)の近くに置いたりしないでください。

プラグを抜く

使用しないときは、必ずACアダプターをコンセントから抜く。
絶縁劣化による感電・漏電・火災の原因になります。

プラグを抜く

製品の組み立てや取りはずし、お手入れの際は、安全のためACアダプターをコンセントから抜く。
感電・火災・けがの原因になります。

分解禁止

分解しない。また、修理技術者以外の人は修理しない。
火災・感電・けがの原因になります。修理は販売店またはドウシシャお客様相談室(裏表紙参照)にご相談ください。

ぬれ手禁止

ぬれた手で、ACアダプターを抜き差ししない。
感電の原因になります。

水ぬれ禁止

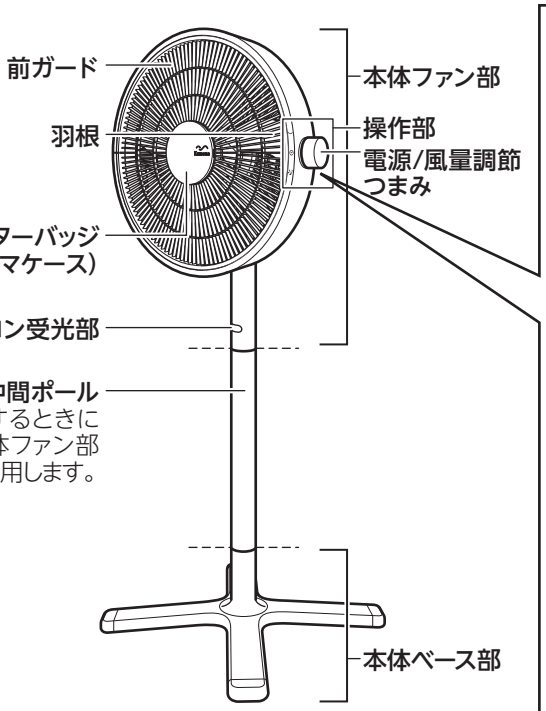
水につけたり、水をかけたりしてぬらさない。
ショート・感電の原因になります。

⚠注意

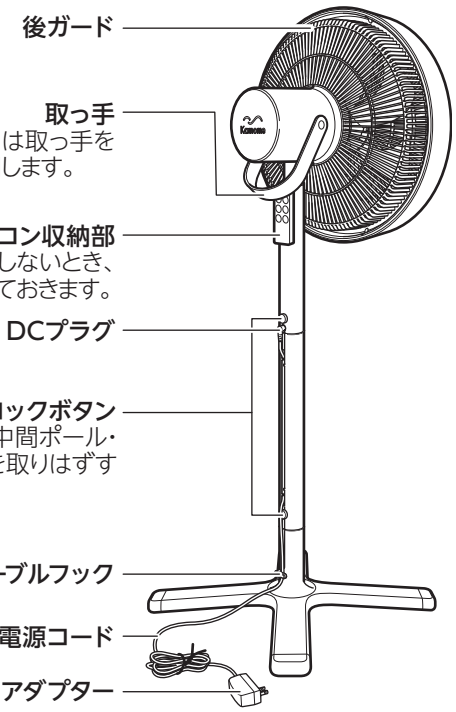
<table>
<tr>
<td rowspan="5">指示</td>
<td>ACアダプターを抜くときは電源コードを持たずに必ずACアダプターをもって引き抜く。
感電・ショート・電源コードの断線の原因になります。</td>
<td rowspan="6">禁止</td>
<td>風をからだに、長い時間続けてあてない。
健康を害することがあります。</td>
<td rowspan="3">禁止</td>
<td>お手入れのときは住宅用洗剤・シンナー・ベンジン・アルコール・磨き粉などを使わない。
変色・変形・感電・故障の原因になります。</td>
</tr>
<tr>
<td>リモコンの電池は⊕⊖を正しく入れる。
間違えて入れると、故障するだけでなく、液もれや破裂の原因になります。</td>
<td>本体を引きずらない。
床が傷つく原因になります。</td>
<td>本体ファン部をベース部に取り付けずに使用しない。
破損・故障・けがなどの原因になります。</td>
</tr>
<tr>
<td>長時間使用しないときはリモコンの電池を抜く。
長時間入れたままにしておくと、液漏れによって内部を汚したり、破裂による火災やけがの原因になります。</td>
<td>ガードの中に指などを入れない。
けがの原因になります。</td>
<td>首ふり動作中の本体を無理に正面に向けない。
破損・故障・異音などの原因になります。</td>
</tr>
<tr>
<td>リモコンを廃棄するときは、電池を抜く。
そのまま廃棄すると、思わぬ事故の原因となります。電池は各地方自治体の指示に従って処分してください。</td>
<td>不安定な場所で使わない。
けが・故障の原因になります。</td>
<td rowspan="3"></td>
<td rowspan="3"></td>
</tr>
<tr>
<td rowspan="2">禁止</td>
<td>リモコンの電池は指定以外の電池を使用しない。
液もれなどの原因になります。</td>
<td>髪をガードに近づけすぎない。
髪が巻き込まれ、けがをする原因になります。</td>
</tr>
<tr>
<td>リモコンの電池は直射日光があたる場所など高温になる場所に置かない。
液もれや破裂・火災などの原因となります。</td>
<td>次のようなところでは使わない。
●コンロなど炎の近く
●引火性のガスがあるところ
●雨や水しぶきがかかるところ
変色・変形・炎の立ち消え・火災・感電の原因になります。</td>
</tr>
</table>

各部の名称とはたらき

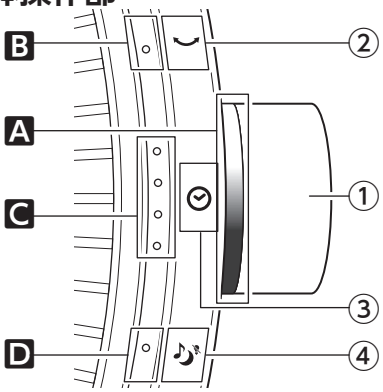
前面



後面



本体操作部



A風量表示インジケーター
風量を表示します。風量が強くなるにつれて下から上側に青色点灯する範囲が広くなっていきます。
電源/風量調節つまみを下側に回し、オレンジ色が点灯したあと消灯すると、電源切状態です。

B首ふりランプ
首ふりボタンが押されて首ふりが設定されたときに点灯・点滅します。

Cタイマーランプ
《下から1H、2H、4H、8H》
運転停止時は入タイマー、運転中は切タイマーが設定されているときに点灯・点滅し、タイマー動作するまでの時間を表示します。

Dリズム／おやすみ風ランプ
リズム風のときは白色、おやすみ風のときは青色に点灯・点滅します。

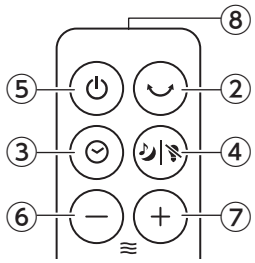
①≋ **電源/風量調節つまみ**
運転を開始／停止、風量を調節します。

②⁓ **首ふりボタン**
首ふり運転を開始／停止します。

③ **タイマーボタン**
入・切タイマーの時間を設定します。

④ **リズム／おやすみ風ボタン**
リズム／おやすみ風機能の切り替えをします。
※長押しで消灯モードになり、インジケーター・ランプ関係はすべて消灯します。

リモコン



⑤⏻ **電源ボタン**
運転を開始／停止します。

⑥≋ **風量調節−ボタン**
運転中の風量を弱く調節します。

⑦≋ **風量調節+ボタン**
運転中の風量を強く調節します。

⑧ **送信部**
本体のリモコン受光部に向けてご使用ください。

使用前の準備

梱包部品一覧

お買い上げ後、同梱の部品を確認してください。

本体ファン部（アロマケース取付済）	1個	コイン形リチウム電池(CR2025･別袋に梱包)	1個
中間ポール	1個	交換用フェルト(アロマケースに1個･取付済)	4個
本体ベース部	1個	保存用袋	1個
ACアダプター	1個	取扱説明書（保証書含む）	1個
リモコン	1個		

⚠警告
- **前ガード･羽根を取り付けずに運転をしない。**
- **本体を正しく設置した状態以外で運転をしない。**

⚠注意
- **前ガード･羽根取付用スピンナーをしっかりと固定してからACアダプターをコンセントに差し込む。**
- **羽根のエッジ等でけがをしないように十分に注意する。**

組み立てと設置

1. 本体ベース部と中間ポール、本体ファン部を取り付ける

中間ポールを取り付け／取りはずしすることにより高さを2段階に設定することができます。

■高くするとき

①本体ベース部を安定した水平な場所に設置する。
②本体ベース部に中間ポールを取り付ける。
③中間ポールに本体ファン部を取り付ける。
※②③をするとき、中間ポール・本体ファン部の取り付け向きに注意してください。

■低くするとき

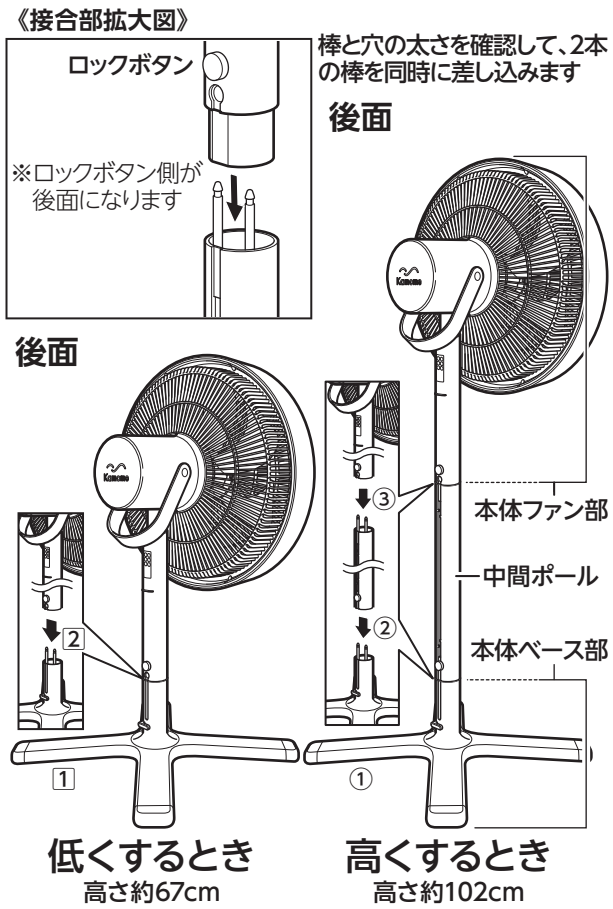
1 本体ベース部を安定した水平な場所に設置する。
2 本体ベース部に本体ファン部を取り付ける。
※本体ファン部の取り付け向きに注意してください。
※高さを低くするときは、中間ポールは使用しません。大切に保存してください。
※本体ファン部･中間ポールを取りはずすときは、後面のロックボタンを押して取りはずします。

⚠注意

接合部は、すき間のないように、しっかりと接合する。
軽く引っ張って、はずれないことを確認してください。きちんと取り付けられていないと、転倒･故障の原因となります。また、取っ手を持ったとき、本体ベース部が落下する原因になります。

2. 本体を水平な安定した場所に設置する

- 取っ手を持って移動させてください
- 本体ベース部を置く場所に異物がないように注意してください。



▶▶つぎのページにつづく▶▶

使用前の準備（つづき）

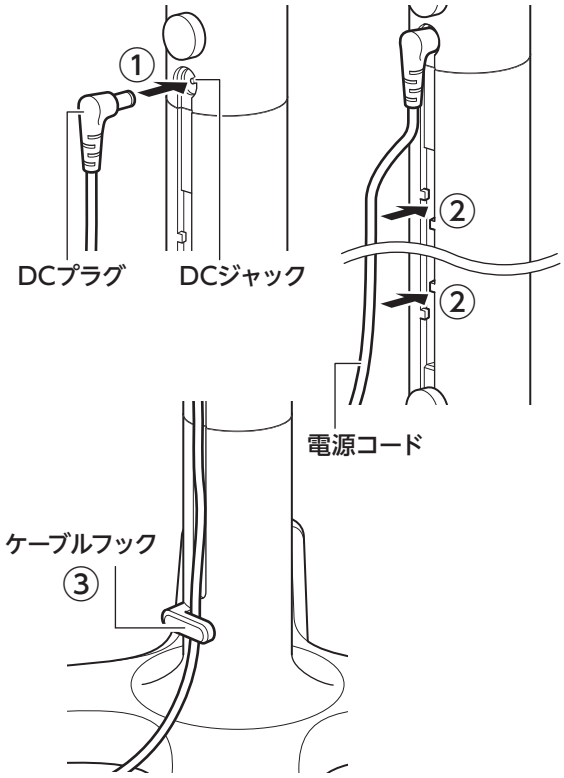
3. ACアダプターを取り付ける

①ACアダプターのDCプラグを本体ファン部のうしろのDCジャックに差し込んでください。

②電源コードは本体ベース部のケーブルフックまでの間にある溝に合わせてツメの下に入れてください。

③簡単にはずれないように、必ず電源コードを本体ベース部のケーブルフックにかけてください。

⚠警告	**ACアダプターの電源コードは、必ず本体ベース部のケーブルフックにかける。** ケーブルフックにかけないと、DCプラグがはずれやすくなり、火災・事故・故障の原因になります。



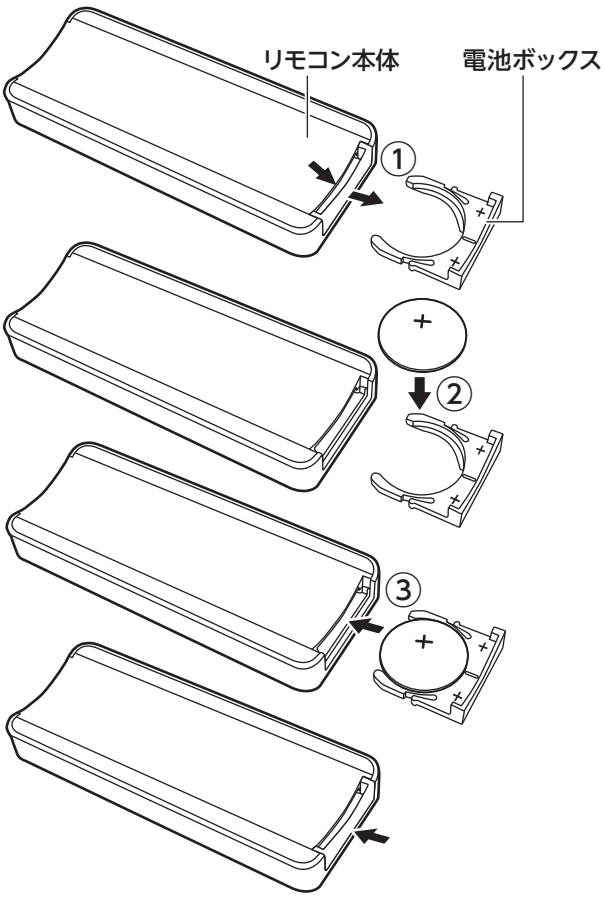
4. リモコンに電池を入れる

①電池ボックスをリモコン本体から引き出す
電池ボックスをすきまから引き出します。

②コイン形リチウム電池を、電池の⊕⊖の向きに注意して電池ボックスに入れる
電池の⊕側を上にして入れてください。

③電池ボックスをリモコン本体に差し込む
カチッと音がするまで差し込んでください。

⚠注意	• **長時間使わないときは電池を取りはずす。** • **⊕⊖を正しく入れる。** • **電池の充電・ショート・分解・火への投入・加熱などはしない。** • **万一、液もれが起こったときは、よくふき取ってから新しい電池を入れる。**

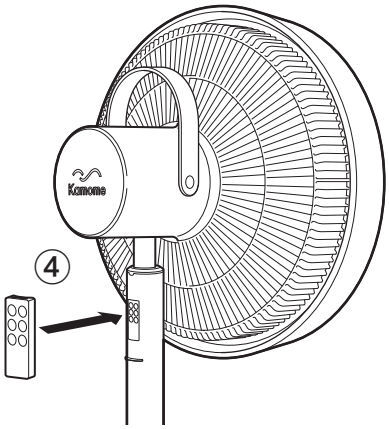


使用可能範囲
- 本体正面から直線で約5m
- 本体正面から左右に約30度
- リモコンと本体の間に障害物があるときは、リモコンが正常に動作しないことがあります。

リモコンを使用しないとき

④リモコンを使用しないときは本体ファン部の支柱にある、リモコン収納部に取り付けておく
リモコン裏面とリモコン収納部に磁石が内蔵されており、取り付けておくことができます。

⚠警告	**リモコン内部に磁石が内蔵されているため取り扱いには十分注意する。** ペースメーカーなど使用されている方が胸ポケットに入れたり、磁気に弱いもの(磁気カードなど)の近くに置いたりしないでください。



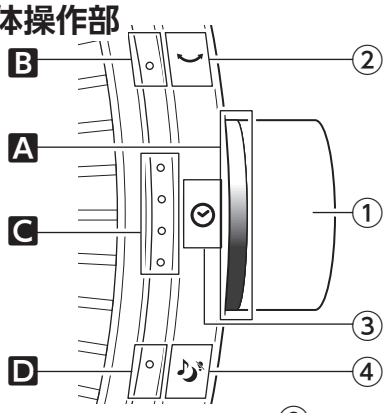
5. ACアダプターをコンセントに差し込む

ピッピッと音がします。

⚠注意	**ACアダプターは布をかけたり、覆ったり、熱のこもる使いかたをしない。** 火災・故障の原因になります。

正しい使いかた

本体操作部



①≋**電源/風量調節つまみ**
運転を開始／停止、風量を調節します。

②**首ふりボタン**
首ふり運転を開始／停止します。

③**タイマーボタン**
入・切タイマーの時間を設定します。

④**リズム／おやすみ風ボタン**
リズム／おやすみ風機能の切り替えをします。
※長押しで消灯モードになり、インジケーター・ランプ関係はすべて消灯します。

⑤**電源ボタン**
運転を開始／停止します。

⑥≋**風量調節−ボタン**
運転中の風量を弱く調節します。

⑦≋**風量調節+ボタン**
運転中の風量を強く調節します。

⑧**送信部**
本体のリモコン受光部に向けてご使用ください。

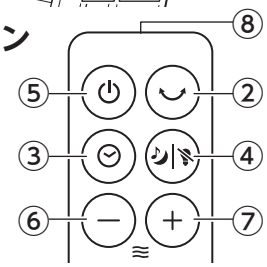
A風量表示インジケーター
風量を表示します。風量が強くなるにつれて下から上側に青色点灯する範囲が広くなっていきます。
電源/風量調節つまみを下側に回し、オレンジ色が点灯したあと消灯すると、電源切状態です。

B首ふりランプ
首ふりボタンが押されて首ふりが設定されたときに点灯・点滅します。

Cタイマーランプ
《下から1H、2H、4H、8H》
運転停止時は入タイマー、運転中は切タイマーが設定されているときに点灯・点滅し、タイマー動作するまでの時間を表示します。

Dリズム／おやすみ風ランプ
リズム風のときは白色、おやすみ風のときは青色に点灯・点滅します。

リモコン



運転を開始／停止する

1. 運転を開始する

本体の≋**電源／風量調節つまみ**を上回し、またはリモコンの⏻**電源ボタン**を押すと、風量表示インジケーターの下側が青色に点灯し、運転を開始します。

- 通常の使用時にはメモリー機能により、前回停止時の風量、首ふりで運転を開始します。
- ACアダプターをコンセントに差し込んでから最初に本体の≋**電源／風量調節つまみ**を上回し、またはリモコンの⏻**電源ボタン**を押したときには、最も弱い風量、首ふりなしで運転を開始します。

2. 風量を調節する

運転中に本体の≋**電源／風量調節つまみ**を回す、リモコンの≋**風量調節+ボタン**または≋**風量調節−ボタン**を押すと、風量調節ができます。

※風量表示インジケーターが上下に変化し、現在設定されている風量を表示します。

[風量を強く調節する]

本体の≋**電源／風量調節つまみ**を上に回す。
リモコンの≋**風量調節+ボタン**を押す。 (+) ≋
押し続けることで順に強くなっていきます。
風量が最大に達すると、風量表示インジケーターが青色で点滅します。

[風量を弱く調節する]

本体の≋**電源／風量調節つまみ**を下に回す。
リモコンの≋**風量調節−ボタン**を押す。 (−) ≋
押し続けることで順に弱くなっていきます。

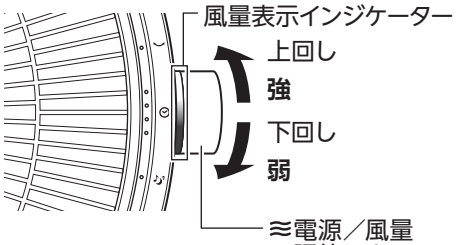
メモリー機能

- 本体の≋電源／風量調節つまみを上回しにして電源を入れると、前回の停止時の首ふり設定で運転を始めます。
- リモコンの⏻電源ボタンを押して電源を入れると、前回の停止時の設定で運転を始めます（風量・首ふり）。

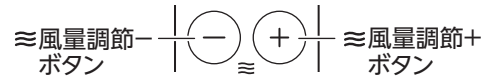
※ACアダプターをコンセントからはずすと、初期設定にリセットされます。
［初期設定］風量：最も弱い風量、首ふり：なし。

風量表示インジケーター

《本体操作部》



《リモコン》



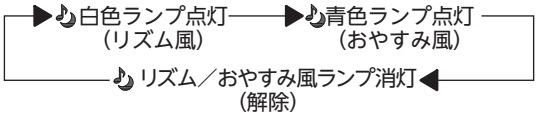
※≋**電源／風量調節つまみ**を下に回し、風量表示インジケーターがオレンジ色で点灯すると、電源が切れます。

※≋**電源／風量調節つまみ**を早く回すと、通常より早い風量調節や、緊急での運転停止をさせることができます。

3. リズム／おやすみ風機能を作動させる

運転中に本体またはリモコンの♪リズム／おやすみ風ボタンを押すと機能が切り替わります。

※ 設定されたリズム／おやすみ風ランプが点灯（もしくは点滅）します。



4. 首ふり運転を開始／停止する

- 運転中に本体またはリモコンの〜首ふりボタンを押すたびに、首ふりランプが点灯・消灯し、首ふり運転が開始／停止されます。

正しく首ふりを開始するまでに時間がかかります。

⚠注意 | **首ふり動作中に無理に向きを変えない。**

5. 消灯モードを設定／解除する

自動減光機能
本体またはリモコンを最後に操作してから約1分経過すると、LEDの光を自動的に減光（約20%）します。

インジケーターやランプがまぶしいときに、本体またはリモコンの♪リズム／おやすみ風ボタンを長押しすると消灯モード（インジケーターやランプが消灯する）に設定されます。もう一度押すと解除されます。

6. 運転を停止する

運転中に本体の≋電源/風量調節つまみを下に回す、またはリモコンの⏻電源ボタンを押すと、運転を停止します。

切り忘れ防止機能
本体またはリモコンを最後に操作してから12時間経過すると、運転を自動的に停止します。

リズム／おやすみ風機能について

リズム風（白色ランプが点灯）

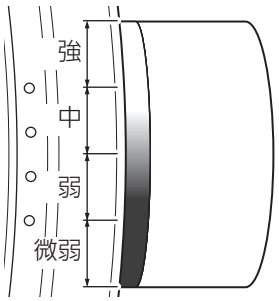
風量に強弱をつけ、自然な風を再現します。

本体の≋電源/風量調節つまみまたはリモコンの≋風量調節+ボタンと≋風量調節−ボタンで風量パターンが変化します。

おやすみ風（青色ランプが点灯）

風量に強弱をつけ、自然な風を再現します。

本体の≋電源/風量調節つまみまたはリモコンの≋風量調節+ボタンと≋風量調節−ボタンで調節した風量に合わせて、風量パターンが時間とともに変化します。



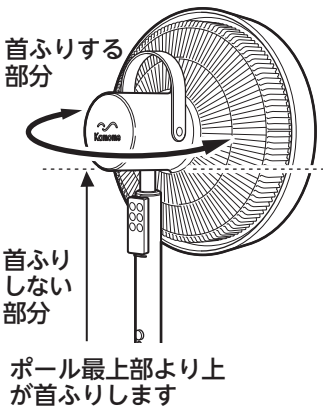
（強時）　強リズム風 → 中リズム風 → 弱リズム風 → 微弱リズム風と時間とともに変化します。

（中時）　中リズム風 → 弱リズム風 → 微弱リズム風と時間とともに変化します。

（弱時）　弱リズム風 → 微弱リズム風と時間とともに変化します。

（微弱時）微弱リズム風 と同じです。

※ 風量表示インジケーターは、設定したときの表示のままになります。



▶▶つぎのページにつづく▶▶

正しい使いかた（つづき）

7. ACアダプターをコンセントから抜く

⚠警告	**使用後はACアダプターをコンセントから抜く。** 火災・故障の原因になります。
⚠注意	• **長時間ご使用にならないときは、節電のためにもACアダプターをコンセントから抜く。** 待機電力が発生しなくなり、省エネになります。 • **運転中に、停電やACアダプターが抜けた場合は、すべての設定が解除され、運転が停止します。** 始めから操作をやり直してください。

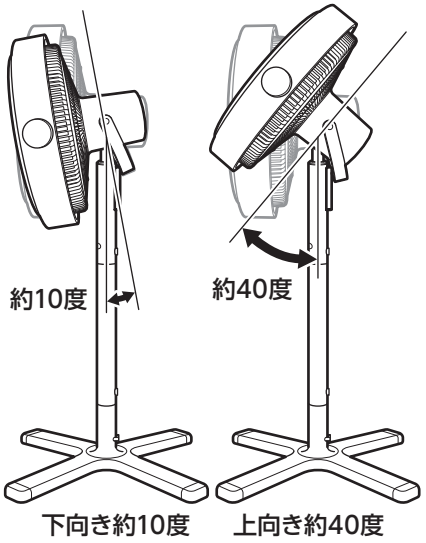
角度を調節する

上下の角度

下向きに約10度、上向きに約40度の角度をつけることができます。ポールの上部を支え、前ガードの上部または下部を押して、ゆっくり上下に動かします。

- 角度を調節するときは、必ず運転を停止させて、羽根が止まったことを確認してから行ないます。
- 本体が倒れたりしないように押さえながら調節してください。

⚠注意	**角度調節をするときは、指をはさまないように注意する。** けがや故障の原因になります。



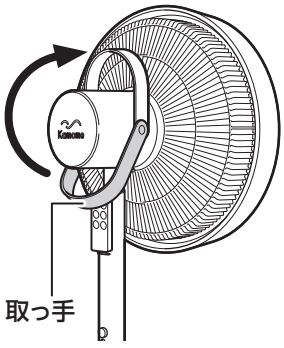
サーキュレーターとして使う

室内の空気を循環させてエアコンと併用すればエアコンの効きをよくします。

- 冬に上に向けて風を送ると、天井にある暖かい空気を下へ循環させることができます。

持ち運び

移動するときは、必ず取っ手を持って移動してください。



タイマーを設定する

切タイマーの設定

切タイマーを設定すると、設定した時間後に自動的に運転を停止させることができます。

1. 運転中に⏲タイマーボタンを押して切タイマーを設定する

運転中に本体またはリモコンの⏲タイマーボタンを押すと、タイマーランプが点灯し、切タイマーが設定されます。
切タイマーの動作時間は本体またはリモコンの⏲タイマーボタンを押して設定することができます。

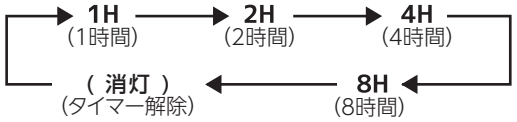
- タイマーランプを確認して運転が停止するまでの時間を設定してください。
- タイマーランプは切タイマーを設定したあと、切タイマーが作動するまでの時間を表示します。

2. 切タイマーをキャンセルする

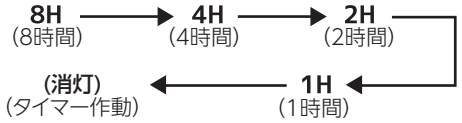
本体またはリモコンの⏲タイマーボタンを何回か押して、タイマーランプを消灯させます。

タイマーランプについて

タイマーランプは、本体またはリモコンの⏲タイマーボタンを押すごとに下のように切り替わります。



入・切タイマーを設定したのち、時間の経過とともにタイマーランプが移り変わり、タイマーがはたらくまでの時間を表示します。



※切タイマーと入タイマーを同時に設定することはできません。

入タイマーの設定

入タイマーを設定すると、設定した時間後に自動的に運転を開始させることができます。

⚠注意	**入タイマーは、設定時間に動作しても問題ない環境であることを十分確認の上、使用する。** 子供がいたり、本体が倒れるような強い風が入ってくるところや、周囲に火気があるなど、事故につながるような環境で入タイマーは使用しないでください。

1. 運転が停止している状態で、⏲タイマーボタンを押して入タイマーの時間を設定する

運転が停止している状態で本体またはリモコンの⏲タイマーボタンを長押しすると、タイマーランプが**点滅**し、入タイマーが設定されます。

- 直前に使用していた風量インジケーターが（首ふりしていたときは首ふりランプも）点滅します（「メモリー機能」→7ページ）。
- 入タイマーの動作時間は⏲タイマーボタンを押して設定することができます。
- タイマーランプは入タイマーを設定したあと、入タイマーがはたらくまでの時間を表示します。

2. 設定した時間に運転する風量などを設定する

本体の≋電源／風量調節つまみ、リモコンの≋風量調節＋ボタンや≋風量調節－ボタンを押して、設定した時間に運転する風量を設定します。風量表示インジケーターが点滅します。

- 〜首ふりボタン、♪リズム／おやすみ風ボタンを押して、設定した時間に運転する風を設定することができます。
- 設定は、ランプの点滅により確認できます。

切り忘れ防止機能

入タイマーで運転を開始したときも、12時間連続運転すると、運転を自動的に停止します。
運転開始後、ボタンを最後に操作してから12時間経過すると、運転を停止します。

3. 入タイマーをキャンセルする

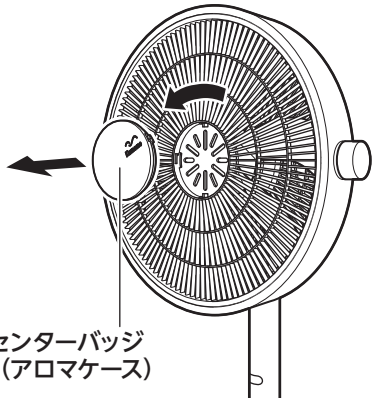
本体またはリモコンの⏲タイマーボタンを何回か押して、タイマーランプを消灯させます。

正しい使いかた（つづき）

アロマオイルの使いかた

1. 前ガードに取り付けられているセンターバッジ(アロマケース)をはずす

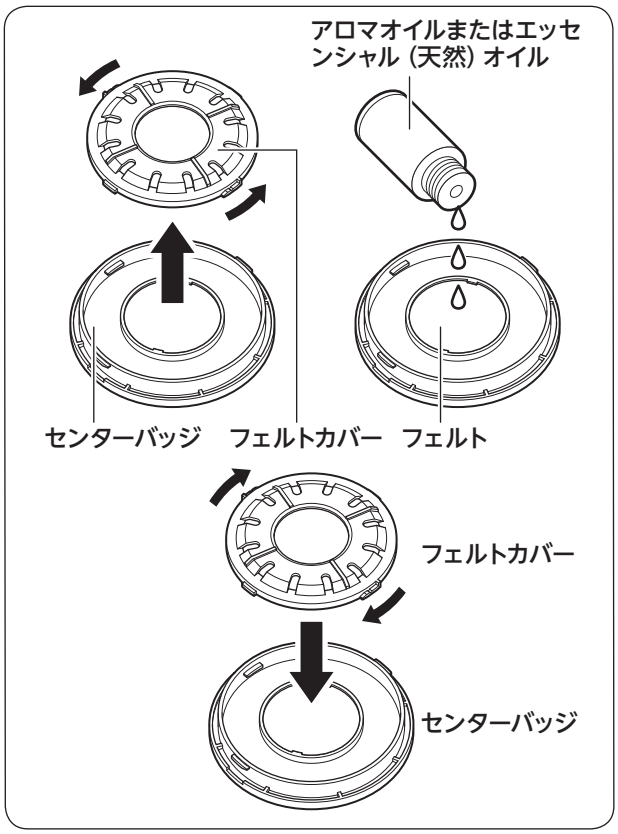
センターバッジ(アロマケース)を左に回して、手前に引いてはずします。



2. フェルトカバーを取りはずし、センターバッジ(アロマケース)に取り付けられているフェルトにアロマオイルを染み込ませる

センターバッジ(アロマケース)からフェルトカバーを左に回して取りはずし、フェルトが取り付けられていることを確認してください。市販のアロマオイルまたはエッセンシャル（天然）オイルを、外側にこぼれないよう注意しながら2〜3滴フェルトに染み込ませます。

⚠注意	• **アロマオイルまたはエッセンシャル（天然）オイルをセンターバッジ(アロマケース)のフェルト収納部からあふれるまで入れすぎない。** • **アロマオイルまたはエッセンシャル(天然)オイルがセンターバッジ(アロマケース)やフェルトカバーの外側に付着したときは必ず拭き取る。** • **センターバッジ(アロマケース)やフェルトカバーの外側にアロマオイルまたはエッセンシャル(天然)オイルが付着した状態で取り付けない。** • **本製品専用のフェルト以外は使用しない。** 本体の破損・故障の原因になります。



3. フェルトカバーを取りつけて、元の位置にセンターバッジ(アロマケース)を取り付ける

フェルトカバーをセンターバッジ(アロマケース)に右に回して取り付けます。さらにセンターバッジ(アロマケース)を前ガードに右に回して取り付けます。

4. 運転を開始する

7ページの「運転を開始／停止する」の手順に従い運転を開始してください。アロマの香りを含んだ風をお楽しみいただけます。

フェルトの交換

※ フェルトが汚れてきた場合や違う種類のアロマオイルまたはエッセンシャル（天然）オイルを使用する場合は、フェルトを交換してください。

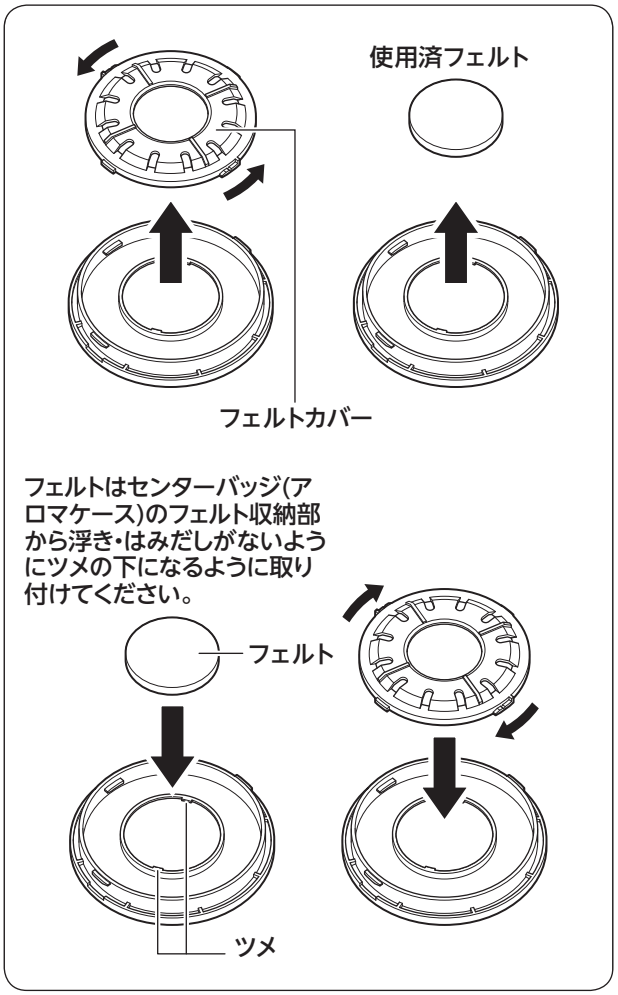
※ フェルトの交換のときは、フェルトカバーを左に回してはずします。その後、フェルトを取りはずし、フェルトを交換します。

※ フェルトはセンターバッジ（アロマケース）のフェルト収納部のツメの下になるように取り付けてください。フェルトカバーを右にまわして取り付けてください。

※ フェルトはご購入時にセンターバッジ（アロマケース）に取り付けられているもの以外に3枚付属しています。フェルトは洗って再使用することができません。

※ センターバッジ（アロマケース）は中性洗剤などで洗い、水気をよく拭き取ってください。

アロマオイル・エッセンシャル（天然）オイルなどについて
- 炎に近づけないでください。
- 子供の手の届かない場所に保存してください。
- 衣服などに付着したときは、大量の水で洗い流した後、自然乾燥させてください。乾燥機は使用しないでください。発火する恐れがあります。
- 手に付着したときは、直ちに手を洗ってください。
- 取り扱いについては、アロマオイル・エッセンシャル（天然）オイルに付属の取扱説明書をご覧ください。



交換用フェルト

交換用のフェルトは別売しています。本体お買い上げの販売店またはドウシシャお客様相談室（裏表紙参照）にお問い合わせください。

※フェルトは消耗品ですので、保証期間中でも有償となります。

交換用フェルト
商品名　**フェルト**　(4枚)
型番　AF-ZE3

2019年4月現在

⚠注意	**取りはずしたフェルトの扱いに注意する。** アロマオイル・エッセンシャル（天然）オイルはプラスチックを溶かしたりすることがあります。大切なものを取りはずしたフェルトに触れさせると、傷つけてしまうこともありますので十分注意してください。

お手入れと保存

⚠警告	**お手入れのときは、必ずACアダプターをコンセントから抜く。** 感電・火災・けがの原因になります。

お願い

- 住宅用洗剤やシンナー、ベンジン、アルコール、磨き粉などは絶対に使わないでください。
- 本体・ACアダプターに水をかけて洗わないでください。（感電・故障の原因になります。）

お手入れ

本体の汚れは、ぬるま湯か食器用中性洗剤（柑橘系を除く）に浸して、かたくしぼった柔らかい布でふきとり、さらに乾いた布でやさしくからぶきをしてください（強くこすらないでください。傷つきの原因となることがあります）。

羽根のお手入れ

本体の内部の羽根などのお手入れは、前ガードを取りはずして行ないます。できるだけ二人で行ない（おさえる人とはずしたり取り付ける人）無理な力を本体にかけないようにしてください。

⚠警告	**羽根とガードを取り付けずに運転をしない。**

⚠注意	**• ガードと羽根をしっかりと固定してからACアダプターをコンセントに差し込む。** **• 羽根のエッジなどでけがをしないよう、十分に注意する。**

羽根・前ガードの取りはずしかた

1. **前ガードの左右にあるツメを持ち、前ガードを全体的に左に回す①**

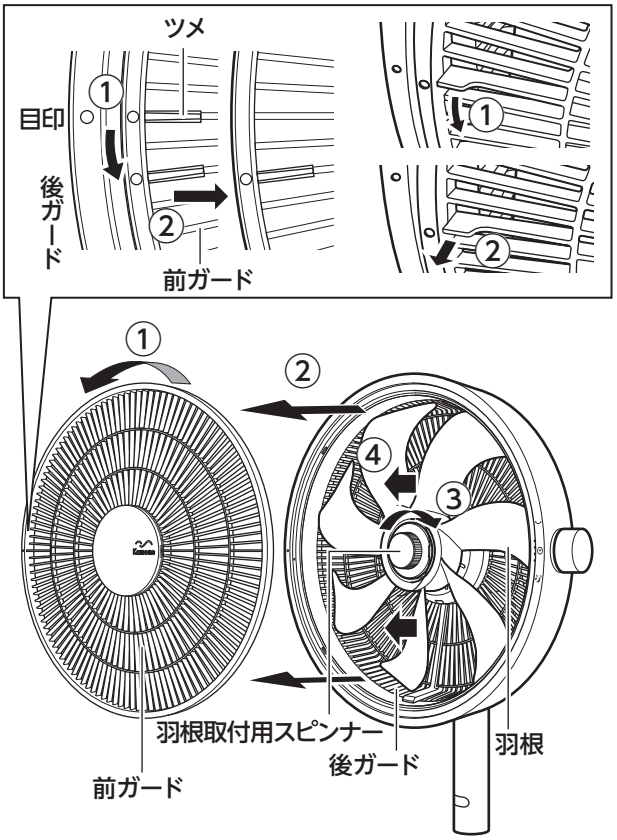
⚠注意	**前ガードを強く回しすぎないようにする。** 破損・故障の原因になります。

2. **回らなくなったところで前ガードを全体的に引き出す②**
3. **羽根を押さえながら、羽根取付用スピンナーを右に回してはずし③、羽根を手前に引いてはずす④**

   羽根取付用スピンナーは、通常と逆の構造になっており、左回しで取り付け、右回しで取りはずしになります。

   ※後ガードは取りはずすことができません。お手入れするときは、後ガード内部には電気配線などがあるため、十分に注意してください。

   ※お手入れのあとは十分乾燥させてください。



羽根・前ガードの取り付けかた

1. 羽根をモーター軸のピンに合わせて取り付ける①

羽根のピン固定部とモーター軸根元のピンを合わせて取り付けます。

2. 羽根を押さえながら、羽根取付用スピンナーを左に回して羽根を固定する②

羽根を押さえて、羽根取付用スピンナーを「左」に回してしっかりと羽根を締め付けます。

3. 前ガード「〇」目印を後ガードの「〇」目印の下に合わせて取り付け、前ガードを全体的に押し込む③

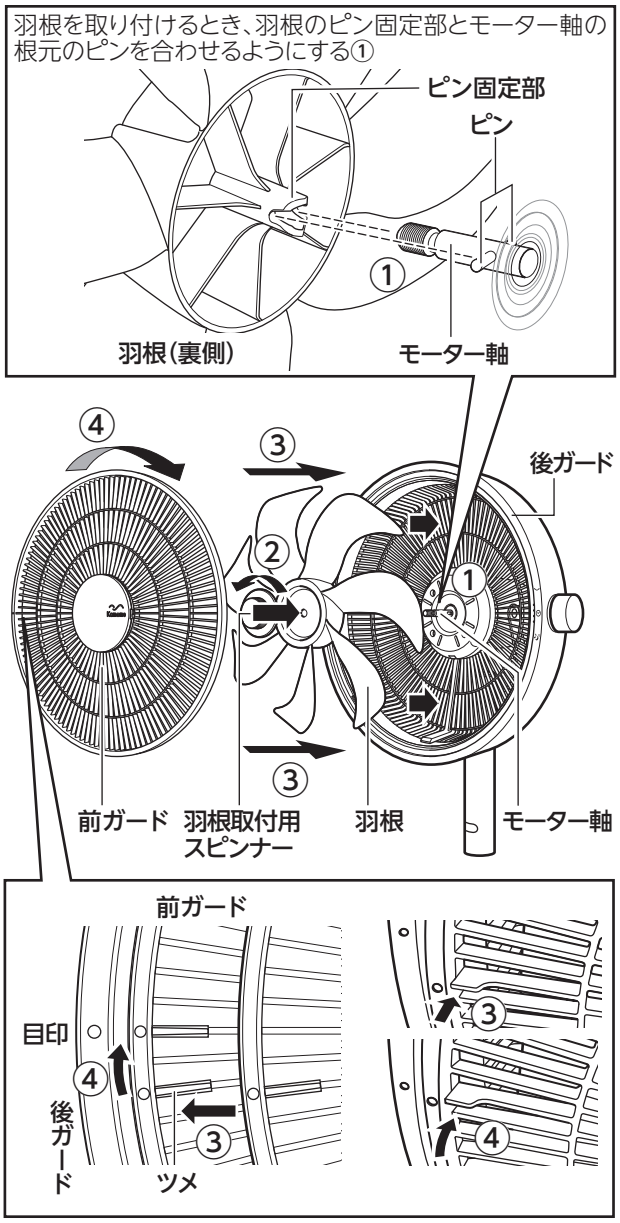
後ガードにある左側の「〇」目印の下に、前ガードにある「〇」目印を合わせて押し込める場所があります。前ガードを全体的にはめ込み、押し込んでください。

4. 前ガード左右にあるツメを持ち、前ガードを全体的に右に回す④

前ガードを全体的に、動かなくなるまで右に回してください（後ガードと前ガードの「〇」目印が左右に揃います）。

取り付けが中途半端だと、はずれてきたり、異音の原因になります。

⚠注意	**前ガードを強く回しすぎないようにする。** 破損・故障の原因になります。



保存のしかた

- お手入れのあと、よく乾燥させてください。
- 付属の保存用袋に入れて、湿気のない場所に保存してください。
- 袋に入れるとき、前もって首ふり機能で前を向くように調節しておくことが必要です。
- 長期間使用しないときは、リモコンから電池を取りはずしておいてください。

修理・サービスを依頼する前に

⚠警告	修理技術者以外の人は分解したり修理をしない。

「故障かな?」と思ったときには次の点をお調べください。

症状	主な原因	処置
電源が入らない	• ACアダプターのDCプラグがDCジャックから抜けている	DCプラグをDCジャックに差し込む
	• ACアダプターがコンセントから抜けている	ACアダプターをコンセントに差し込む
羽根がまわらない	• 羽根が正しく取り付けられていない • 羽根がガードに当たっている	羽根やガードを正しく取り付ける(14ページ)
インジケーター・ランプが点灯していない	• 消灯モードを設定した	操作して消灯モードを解除する
インジケーター・ランプが暗い	• 自動減光機能がはたらいている (8ページ)	操作して減光モードを解除する
突然運転が止まる	• 切り忘れ防止機能がはたらいている (8・10ページ)	本体の≋電源／風量調節つまみを上回し、またはリモコンの⏻電源ボタンを押して電源を入れる。
異音がする	• 羽根が正しく取り付けられていない • 羽根がガードに当たっている • ガードが正しく取り付けられていない	羽根やガードを正しく取り付ける(「羽根・前ガードの取り付けかた」14ページ)
	• 羽根取付用スピンナーがゆるんでいる	羽根取付用スピンナーを締めつける(14ページ)
⤻首ふりボタンを押すと、すぐに動き出さない	• 故障ではありません（内部の回路が現在の位置関係を確認するために、最初の1回の首ふりはすぐに動かない場合があります（8ページ）	正常な首ふりが開始されるまでお待ちください
ボタンを押してもランプが点滅して動作しないことがある	• 入タイマー設定の状態になっている	タイマーボタンを何回か押して、入タイマーを終了させる
リモコンから操作できない	• リモコンの電池が切れている	新しい電池に交換する (5ページ)
	• リモコンの電池が逆に入っている	電池を正しく入れる（5ページ）
	• リモコン収納部に取り付けたまま操作している • リモコン受光部に向けて操作していない • リモコン受光部までの距離が遠い	リモコンの送信部をリモコン受光部に向けて、使用可能範囲で操作する

長年ご使用の扇風機はよく点検を

このような症状はありませんか?

- 電源コードやACアダプターが異常に熱い。
- 電源コードを動かすと、通電したり、しなかったりする。
- こげ臭い匂いがする。
- その他の異常・故障がある。

このような症状のときは、事故防止のため、すぐに電源を切り、コンセントからACアダプターを抜いて、必ず販売店またはドウシシャお客様相談室に点検をご相談ください。

MEMO

MEMO

長期使用製品安全表示制度に基づく本体表示について

（本体への表示内容）

※経年劣化により発火･けが等の事故の発生が高まるおそれがあることを注意喚起するために電気用品安全法で義務付けられた以下の内容の表示を本体に行っています。

[製造年]（本体に西暦4桁で表示してあります） [設計上の標準使用期間]（本体に表示してあります）
設計上の標準使用期間を超えて使用されますと経年劣化による発火･けが等の事故に至るおそれがあります。

（設計上の標準使用期間とは）

※下表の標準的な使用条件の下で使用した場合に、製造した年から安全上支障なく使用することができる標準的な期間です。

※設計上の標準使用期間は、無償保証期間とは異なります。また、偶発的な故障を保証するものでもありません。

■ 標準使用条件〈JIS C9921-1による〉

環境条件	電圧	AC 100V	
	周波数	50Hz／60Hz	
	温度	30℃	
	湿度	65%	
	設置	標準設置	製品の取扱説明書による
負荷条件		定格負荷（風速）	
規定時間など	運転時間	8h／日	
	運転回数	5回／日	
	運転日数	110日／年	
	スイッチ操作回数	550回／年	
	首振運転の割合	100%	

●「経年劣化とは」

長期間にわたる使用や放置に伴い生ずる劣化をいいます。

故障・修理についてのご相談に関しては…

ドウシシャお客様相談室

ドウシシャ福井家電カスタマーセンター

【受付時間】9:00～17:00（祝日以外の月～金曜日）

☎0120-104-481

〒915-0857 福井県越前市四郎丸町52-5

※商品名、品番をご確認のうえ、お電話をいただきますようお願いいたします。
※お電話をいただいたときにお話いただく情報は、お客様へのアフターサービスにおいて利用させていただきますので、ご了承ください。

株式会社ドウシシャ　www.doshisha.co.jp

4A19A